著諱し

浮款した

想定に 8万宝CCCn



群

馬県市町村会館で開催し 事等安全対策協議会を群 道事務所は6月29日、 国土交通省高崎河川国

規約の一部改正や202 みづくりに継続して取り 故等発生事例などについ と呼び掛けた。 組んでいくことが重要

|工事事故が1件発生して は調査中の案件を除いて 福井貴規所長は「20年度 いる。例年に 害防止対策の一層の取り 組みをお願いする」と述 安全意識の高揚と労働災 健康安全課の吉永宣司課 厚生労働省群馬労働局 一建設現場における

比べれば少な いる。より 7件となって い数字である る工事疑いは の予備軍であ か、工事事故 『、安全意識 べた。

議事では、i-Constr

諸議案を慎重審議した

コン工場の品質管理状況

年間計画案を承認した。 や査察などを盛り込んだ を中止することや、

年度初めての会議という

宮澤議長は「本日は21

よび優良工場選定の調査

ことで、県内における生

る」と述べた。

くことが責務と考えてい

ルス感染症拡大防止の観

き続き、新型コロナウイ 行。21年度は20年度に引

ートを安定供給してい

必要があり、 部改正について説明が行 だことによる、規約の一 活用推進などを盛り込ん スフォーメーション)の のDX(デジタルトラン uctionやインフラ分野 さらに、

高崎河川国道 メンバーは学識経験者や

定21 時年 会度

30周年

た。議事では、同協議会 併せて体制づくりや仕組 36

県生コンクリート 品質管理監査会議 21年度1回目会議開く 場

適

宮澤議長

建設業協会と生産者側の 業組合。議事では36工場 群馬県生コンクリートエ 東日本高速道路、群馬県 に対する2021年度適

馬県建設技術センター

国土交通省、群馬県、

んでいき、良質なコンク

|=宮澤伸吾足利大学教 授)が6月30日、ラシー 品質管理監查会議 ネ新前橋で開催された。 群馬県生コンクリー (議長 髙木理事長 マーク使用承諾について 県土木施工 管理技士会

大川会長

育成、働き方改革と向き 年の節目の年となる。生 産性の向上、 大川会長は

人材確保·

創立30周

来賓には、

には遠隔臨場を採用して

会(大川博之会長)は 群馬県土木施工管理技 動を展開したい 会的地位向上に向けた活 合い、会員の技術力と社

他などを盛り込んだ21年 及事業計画などについて 配立30周年記念講演の実 惟した。新たに、 心会を群馬建設会館で開 会長に就任。このほか (前橋市)の塩原聡氏

た。下請けでも る意見が上がっ

D取得に時間

ど書類の重複を 施工体制台帳な 電動力の必要性、

元請の課題とす

いる地蔵川第二砂防堰堤 などを導入して施工して

ている。

プシステム (CCUS)

の砂防堰堤を

一部施工し

山藤組 (桐生市) は5

根川水系砂防事務所から

現場は嬬恋村鎌原 地蔵川と片蓋川

ICT活用や週休2 建設キャリアアッ

地内で、

山藤組

県土整備部参加し見学会

TやOOUSで

となる28・5%を上回っ と、4週8休以上の基準

段階確認や立ち合いなど ている。さらに、現場の

ネットワーク設備環境や

CCUSに対しては

工事の現場見学会を開催

から施工、納品まで全て

ICT施工は起工測量

た。県県土整備部と桐

土木事務所の職員約30

制の実施状況としては、 の段階で活用。週休2日

必要な資料も多

国土交通省利

現場閉所率が3・63%

4月着工から6月までに









創立30周年を迎える

込んだ。

でいく」と意気

法氏、理事に梅 新たな役員とし 厅野敏行氏が就 て副会長に清水 塩原会長のほ 監事に

事業など審議 あいさつを代読した。 定した。自然災害などの 皆さまの役割は重要」 は防災・減災を中心とし 厄機に対応するためにも 2

として県建設企画課の松 部の清水昭芳部長の代理 まな環境の変化がある や週休2日制などさまざ 氏は「ICT技術の活用 新会長に就任した塩原 こうした状況を踏ま 活動に取り組ん えて会としての

された最重要課題である

の監査統括責任者や副監 会議の主催する説明会の

などが行われ、審議へ移

査統括責任者の受講報告

品質管理や品質の安定に ついては引き続き取り組

である。生コン工場に課